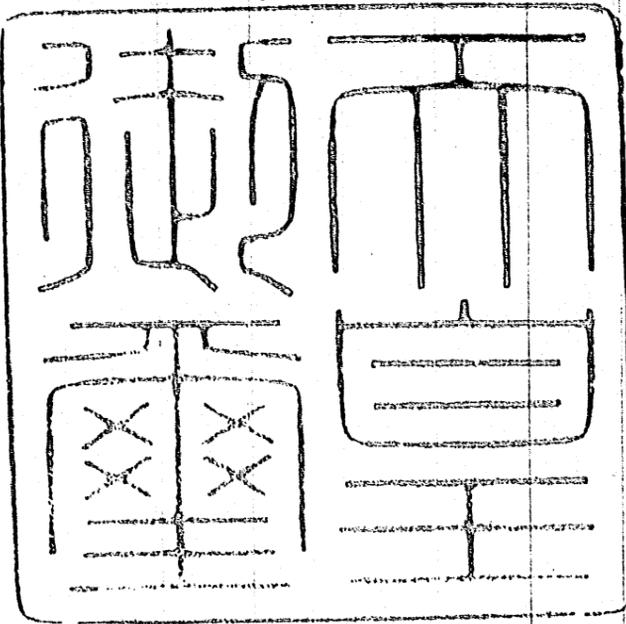


勅令第百九十九号

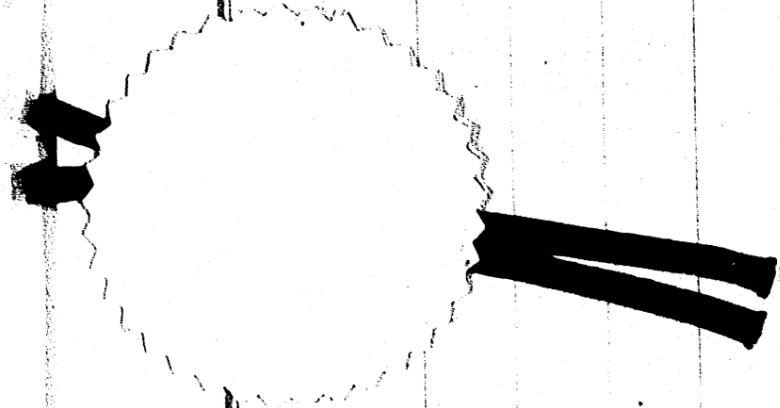
朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ陸軍召集令ヲ
裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

吉岡加仁



大正二年十一月四日

内閣總理大臣伯爵 山本權兵衛
陸軍大臣 楠瀬幸彦



勅令第二百九十九號
陸軍召集令

第一章 總則

第一條 在郷軍人及國民兵ノ召集並に在郷軍人ノ簡閱點呼ニ關シテハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 召集ヲ分テテ充員召集臨時召集國民兵召集演習召集教育召集及補缺召集トス

第三條 召集及簡閱點呼ハ特別ノ規定
アル場合ヲ除クノ外在郷軍人及國民
兵ノ本籍地所管師團長之ヲ掌ル

第四條 將官同相當官ニ對スル召集ノ
令達ハ師團長直ニ之ヲ行フ

第五條 戒嚴ヲ宣告シ得ル權アル司令
官ハ時機切迫交通斷絶シテ命ヲ請フ
コト能ハサルトキハ獨斷ヲ以テ充員

召集臨時召集及國民兵召集ヲ行フコ
トヲ得此ノ場合ニ於テ該司令官ハ召

集ニ關シ師團長ト同一ノ職權ヲ有ス

第六條 召集事務ニ關シ師團長ノ定メ

タル規程ハ地方長官憲兵隊長及其ノ
所部ノ官吏公吏之ヲ遵行スヘシ

前項ノ規程ニシテ公示ヲ要スルモノ
ニ付テハ明治二十六年勅令第百九十
九號第一條乃至第三條ノ規定ヲ準用
ス

第七條 師團長ハ定期又ハ臨時ニ地方
行政廳ノ召集事務ヲ檢閲シ又ハ部下

將校ヲシテ之ヲ檢閲セシムヘシ
地方長官憲兵司令官及憲兵隊長ハ其
ノ所部ノ召集事務ヲ檢閲シ又ハ部下
官吏ヲシテ之ヲ檢閲セシムヘシ
第八條 召集及簡閱點呼ハ令狀ニ依リ
之ヲ為ス但シ已ムコトヲ得サル場合
ニ於テハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ
傳達ノ方法ヲ以テ之ニ代フルコトヲ
得
召集令狀ニハ召集部隊到着地及到着

日時ヲ指定シ點呼令狀ニハ點呼場及
到着日時ヲ指定スヘシ
演習召集又ハ教育召集中ノ者ニ對シ
充員召集又ハ臨時召集ヲ令達スルノ
方法ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依ル
第九條 應召員令狀又ハ召集ノ傳達ヲ
受ケタルトキハ指定ニ從ヒ應召スヘ
シ
事故ニ依リ指定ニ從ヒ應召スルコト
能ハサル者ニ付テハ陸軍大臣ノ定

ムル所ニ依ル

第十條 召集ニ應スル為旅行ヲ為ス者

ニハ旅費ヲ給ス

簡閱點呼ニ參會スル者ニハ旅費ヲ給

セス

第十一條 本令中在郷軍人ト稱スルハ

待命休職停職豫備役後備役ノ將校同

相當官准士官豫備役後備役ノ下士兵

卒歸休兵補充兵及十二月一日以後ニ

於テ未夕入營セサル現役兵ヲ謂フ

第十二條 本令中國民兵ニ關スル規定

ハ志願ニ依リ國民軍編入ヲ許可セラ

レタル者ニ之ヲ適用ス

第十三條 本令中應召員ト稱スルハ召

集ニ應スヘキ者ヲ謂フ

第十四條 本令中郡市町村ニ關スル規

定ハ各左記下欄ノ地ニ之ヲ適用ス

島司ヲ置キタル島嶼(小笠原

島ヲ除ク)

郡 島司郡長ニ準スヘキ者ノ管

内村
開

轄區

北海道ニ在リテハ支廳長ノ

管轄區

區長ヲ以テ戶籍吏ト為シタ

ル市ニ在リテハ區

北海道又ハ沖繩縣ニ在リテ

ハ區

小笠原島

島司郡長又ハ之ニ準スヘキ

者ヲ置カサル島嶼ニ在リテ

市

ハ町村長ニ準スヘキ者ノ管轄區

町村

島司郡長若ハ之ニ準スヘキ

者又ハ北海道廳支廳長ノ管

轄區内ニ於ケル町村長ニ準

スヘキ者ノ管轄區

第十五條

本令中聯隊區司令官郡長市

長又ハ町村長ニ關スル規定ハ各左記

下欄ノ者ニ之ヲ適用ス

聯隊區司令官警備隊司令官

警備隊區司令官

島司(小笠原島司ヲ除ク)

島司郡長ニ準スヘキ者

北海道ニ在リテハ支廳長

區長ヲ以テ戶籍吏ト為シタ

ル市ニ在リテハ區長

北海道又ハ沖繩縣ニ在リテ

ハ區長

小笠原島司

島司郡長又ハ之ニ準スヘキ

郡長

市長

町村長

者ヲ置カサル島嶼ニ在リテ

ハ町村長ニ準スヘキ者

島司郡長若ハ之ニ準スヘキ

者又ハ北海道廳支廳長ノ管

轄區内ニ於ケル町村長ニ準

スヘキ者

第十六條 本令中地方長官ニ關スル規

定ハ東京府ニ在リテハ警視總監ニ亦

之ヲ適用ス

第十七條 師團長ハ本令ノ一部ヲ實施

スルコト能ハサル島嶼ニ付キ適宜ノ
方法ヲ設クルコトヲ得

第十八條 朝鮮、臺灣、樺太、關東、洲又ハ滿洲ニ於テ行フハキ演習召集、教育召集及簡閱、點呼ニ關シテハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依ル

第二章 充員召集

第一款 通則

第十九條 充員召集トハ動員ニ當リ諸部隊ノ要員ヲ充足スル為在郷軍人ヲ

召集スルヲ謂フ

第二十條 充員召集事務ニ關シ職責アル者ハ平時之ニ關スル諸件ヲ遺漏ナク計畫準備シ召集實施ニ當リ支障ナカラシムルコトヲ要ス

第二十一條 地方長官ハ第六條ノ規定ニ依ル場合ノ外充員召集ノ準備又ハ實施ニ關シ師團長ヨリ要求ヲ受ケタルトキハ之ニ應シ又ハ自ラ召集ヲ容易ナラシムル措置ヲ為スハシ

第二款 充員召集ノ準備

第二十二條 師團長ハ要員ノ配當其ノ他充員召集ノ準備ニ關シ必要ナル事項ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ
聯隊區司令官ハ前項ノ達ニ基キ充員召集名簿及充員召集令狀ヲ作り之ヲ郡市長ニ送付スヘシ

第三款 充員召集ノ實施

第二十三條 充員召集ハ動員令ニ依リ之ヲ實施ス

第二十四條 師團長ハ動員令ヲ聯隊區司令官及師團司令部所在地外ニ在ル

衛戍司令官ニ達シ且其ノ要旨ヲ關係アル地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

第二十五條 聯隊區司令官動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ關係アル郡市長ニ達スヘシ

第二十六條 師團司令部所在地外ニ在ル衛戍司令官動員令ノ達ヲ受ケタル

トキハ其ノ要旨ヲ其ノ地ニ在ル憲兵
分隊長又ハ憲兵分遣所長ニ通知スハ
シ

第二十七條 憲兵隊長動員令ノ通知ヲ
受ケタルトキハ衛戍地外ニ在リテ該
動員ニ關係アル憲兵分隊長ニ之ヲ達
スハシ

第二十八條 地方長官動員令ノ通知ヲ
受ケタルトキハ之ヲ警察署長警察分
署長及區長ヲ以テ戸籍吏ト為シタル

市ノ市長ニ通知スハシ但シ東京府ニ
在リテハ警察署長及警察分署長ハノ
通知ハ警視總監之ヲ為スハシ

第二十九條 郡長動員令ノ達ヲ受ケタ
ルトキハ充員召集令狀ヲ町村長ニ送
付スハシ

市長動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ充
員召集令狀ヲ應召員ニ交付シ又ハ召
集傳達ノ手續ヲ為スハシ町村長前項
令狀ノ送付ヲ受ケタルトキ亦同シ

第四款 充員召集ノ解除

第三十條 充員召集ノ解除ハ復員令ニ依リ之ヲ實施ス但シ必要アルトキハ復員令ニ依ラス一部ノ召集解除ヲ行フコトヲ得

第三十一條 前條ノ復員令ニ付テハ第二十四條乃至第二十八條ノ規定ヲ準用ス

第三十二條 郡長復員令ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ達スヘシ

第三章 臨時召集

第三十三條 臨時召集トハ戰時又ハ事變ニ際シ必要アル場合ニ於テ臨時在郷軍人ヲ召集スルヲ謂フ

第三十四條 充員召集實施後缺員ヲ補充スル場合ヲ除クノ外臨時召集ヲ實施スヘキ時期ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依ル

第三十五條 臨時召集事務ニ關シ職責アル者ハ召集實施ニ當リ支障ナカラ

シムル為所要ノ準備ヲ整頓シ置クコトヲ要ス

第三十六條 師團長ハ臨時召集ノ命令ヲ聯隊區司令官ニ達シ且其ノ要旨ヲ關係アル地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

第三十七條 聯隊區司令官前條ノ達ヲ受ケタルトキハ直ニ臨時召集令狀ヲ作り之ヲ關係アル郡市長ニ送付スヘシ

郡長令狀ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ送付スヘシ
市町村長令狀ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ應召員ニ交付シ又ハ召集傳達ノ手續ヲ為スヘシ
第三十八條 臨時召集ニ關シテハ第二十一條及第三十條乃至第三十二條ノ規定ヲ準用ス

第四章 國民兵召集

第三十九條 國民兵召集トハ戰時又ハ

事變ニ際シ國民兵ヲ召集スルヲ謂フ
第四十條 國民兵召集ハ第四十七條ノ
場合ヲ除クノ外動員令ニ依リ之ヲ實
施ス

第四十一條 師團長ハ要員ノ配當其ノ
他國民兵召集ノ準備ニ關シ必要ナル
事項ヲ聯隊區司令官ニ達シ且召集ス
ヘキ國民兵ノ種類及年齡ヲ地方長官
及憲兵隊長ニ通知スヘシ

第四十二條 聯隊區司令官ハ前條ノ達

ニ基キ國民兵ノ要員ヲ各郡市ニ配當
シ且必要ナル事項ヲ郡市長ニ達スヘ
シ

第四十三條 郡長前條ノ配當及達ヲ受
ケタルトキハ各町村ニ對シ其ノ當該
國民兵ノ總員ニ比例シテ要員ヲ配當シ
且必要ナル事項ヲ町村長ニ達スヘシ
第四十四條 市町村長國民兵要員ノ配
當及達ヲ受ケタルトキハ陸軍大臣ノ
定ムル所ニ依リ應召員ヲ定メテ國民

兵召集令状ヲ作り之ヲ保管スヘシ
第四十五條 第四十條ノ動員令ニ付テ
ハ第二十四條乃至第二十八條ノ規定
ヲ準用ス

第四十六條 郡長動員令ノ達ヲ受ケタ
ルトキハ之ヲ町村長ニ達スヘシ
市町村長動員令ノ達ヲ受ケタルトキ
ハ召集令状ヲ應召員ニ交付シ又ハ召
集傳達ノ手續ヲ為スヘシ
第四十七條 動員令ニ依ル國民兵召集

實施ノ後缺員ヲ補充スルトキ其ノ他
必要アルトキハ臨時ニ國民兵召集ヲ
實施ス此ノ場合ニ於テハ第三十四條
第三十六條第四十二條及第四十三條
ノ規定ヲ準用ス
前項ノ場合ニ於テハ聯隊區司令官ハ
召集ノ命令ヲ關係アル郡市長ニ達シ
郡長ハ之ヲ町村長ニ達シ市町村長ハ
陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ應召員ヲ
定メテ召集令状ヲ作り之ヲ應召員ニ

交付シ又ハ召集傳達ノ手續ヲ為スハ
シ

第四十八條 國民兵召集ニ關シテハ第

二十一條第三十條乃至第三十二條及

第三十五條ノ規定ヲ準用ス

第四十九條 陸軍大臣特別ノ事情ニ因

リ必要アリト認ムルトキハ國民兵召

集ノ手續ニ關シ臨時前九條ノ規定

ト異ナル規定ヲ設クルコトヲ得

第五章 演習召集

第五十條 演習召集トハ徵兵令第十六

條第十七條及陸軍軍人服役令第三條

第十六條ノ規定ニ依リ勤務演習ノ為

在郷軍人ヲ召集スルヲ謂フ

充員召集ノ演習ヲ為スノ目的ヲ以テ

實施スル演習召集ヲ特ニ臨時演習召

集ト謂フ

第五十一條 臨時演習召集ニ關シテハ

陸軍大臣ノ設ケタル規定アル場合ヲ

除クノ外第二章第三款及第四款ノ規

定ヲ準用ス

第五十二條 演習召集ノ召集部隊ハ在郷軍人本籍地師管内ニ在ル部隊トス但シ其ノ師管内ニ演習ヲ為スヘキ部隊ナキトキハ他ノ師管内ニ在ル部隊トス他ノ師管ニ寄留スル者ハ勤務演習ノ為寄留地師管内ニ在ル部隊ニ之ヲ召集スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ召集ハ寄留地所管師團長之ヲ掌ル

一年志願兵終末試験ニ及第シ豫備役ニ入リタル者ヲ士官ニ任スル為ニ行フ勤務演習ノ召集部隊及近衛師團ニ召集スヘキ者ニ關シテハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依ル

第五十三條 師團長ハ演習召集ノ期日人員部隊及日數ヲ聯隊區司令官ニ達シ且之ヲ關係アル地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

第五十四條 聯隊區司令官前條ノ達ヲ

受ケタルトキハ演習召集令状ヲ作リ
之ヲ郡市長ニ送付スヘシ
郡長令状ノ送付ヲ受ケタルトキハ之
ヲ町村長ニ送付スヘシ
市町村長令状ノ送付ヲ受ケタルトキ
ハ之ヲ應召員ニ交付シ又ハ召集傳達
ノ手續ヲ為スヘシ

第六章 教育召集

第五十五條 教育召集トハ教育ノ為未
夕教育セサル補充兵ヲ召集スルヲ謂

第五十六條 教育召集ニ關シテハ第五
十二條第一項第三項第五十三條及第
五十四條ノ規定ヲ準用ス

第七章 補缺召集

第五十七條 補缺召集トハ平時ニ於テ
兵員ノ補缺ヲ要スルトキ臨時歸休兵
ヲ召集スルヲ謂フ
第五十八條 補缺召集ハ陸軍大臣ノ命
ニ依リ又ハ其ノ認可ヲ得テ師團長之

ヲ行フ

第五十九條 師團長ハ補缺召集ノ期日、人員及部隊ヲ聯隊區司令官ニ達シ且之ヲ關係アル地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

第六十條 補缺召集ニ關シテハ第五十四條ノ規定ヲ準用ス

第八章 簡閱點呼

第六十一條 簡閱點呼トハ豫備役後備役ノ下士卒卒歸休兵及補充兵ヲ參會

セシメテ之ヲ點檢査閱スルヲ謂フ

第六十二條 簡閱點呼ハ在郷軍人本籍地師管ニ於テ之ヲ行フ

他ノ師管ニ寄留スル者ノ簡閱點呼ハ寄留地師管ニ於テ之ヲ行フコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ其ノ簡閱點呼ハ寄留地所管師團長之ヲ掌ル

第六十三條 陸軍大臣ハ簡閱點呼ノ執行ヲ要セスト認メタル者ニ對シテハ其ノ執行ヲ免除スルコトヲ得

第六十四條 僻陬ノ地ニ於テ簡閱點呼
ニ參會スヘキ者僅少ナルトキ其ノ他
已ムコトヲ得サル場合ニ在リテハ師
團長ハ簡閱點呼ヲ省略スルコトヲ得
第六十五條 師團長ハ簡閱點呼ノ時期
ヲ定メ之ヲ聯隊區司令官ニ達シ且部
下ノ將校ニ簡閱點呼執行官ヲ命ズヘ
シ

第六十六條 聯隊區司令官前條ノ達ヲ
受ケタルトキハ點呼場點呼區域及點

呼日割ヲ定メテ師團長ノ認可ヲ受ケ
之ヲ地方長官憲兵隊長簡閱點呼執行
官及郡市長ニ通知スヘシ

第六十七條 地方長官前條ノ通知ヲ受
ケタルトキハ之ヲ警察署長及警察分
署長ニ通知スヘシ但シ東京府ニ在リ
テハ警視總監之ヲ通知スヘシ
郡長前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ之
ヲ町村長ニ通知スヘシ
憲兵隊長前條ノ通知ヲ受ケタルトキ

ハ之ヲ憲兵分隊長ニ達スヘシ

第六十八條 聯隊區司令官ハ第六十五條ノ達ニ基キテ點呼令狀ヲ作り之ヲ郡市長ニ送付シ郡長ハ之ヲ町村長ニ送付シ市町村長ハ簡閲點呼ヲ受クヘキ者ニ該令狀ヲ交付シ又ハ點呼傳達ノ手續ヲ為スヘシ

第六十九條 令狀又ハ點呼ノ傳達ヲ受ケタル者ハ指定ニ從ヒ簡閲點呼ヲ受クヘシ

第七十條 郡市町村長ハ簡閲點呼ニ參列シ簡閲點呼執行官ノ要求アルトキハ其ノ事務ヲ補助スヘシ
郡市町村長ハ點呼參會者ニ訓示ヲ與フルコトヲ得

附則

本令ハ大正二年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス但シ師團長ハ必要ト認ムルトキハ本令ノ一部ニ付キ五月以内仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

陸軍召集條例及明治四十三年勅令第百
八十三號ハ之ヲ廢止ス